授業科目名	アテレコ実践Ⅰ	学年	2	学 科	CGデザイン科	年度	2026
担当教員名	池田知聡、谷口ろくぞう、横山由美					実務経験	有
授業の方法	演習	科目区分	選択必修	学期	通年	単位数	2	時間数	60
実務 / 指導経験	ラジオパーソナリティー、舞台演出、脚本制作、CM、ドラマ、舞台出演、アニメ出演に携わる。						
授業の概要 :実務/指導経験を活かした教育内容	プロの表現者になるための訓練を学ぶことで、社会生活における様々な場面で役立つ表現力を養います。 また、発声・発音を練習することで、自身でアテレコやナレーションを行う技術を身に付けます。						
授業の到達目標	1. 他人の前でも自信をもって楽しみながら自己表現が出来るようになる。 2. 発声・正確なイントネーションを身に付ける。 3. 自身の声でアテレコを行うことができる。						
成績評価の方法	方法	課題評価:60% ・ 平常点:40%　　※前期と後期で評価し、その平均が通年評価					
	基準	優(100～90) ・ 良(89～70) ・ 可(69～40) ・ 不可(39～0)					
準備学習・事後学習等	・それぞれの講師が、実際現場で使っている台本やテキストを持ち寄りますので、予習・復習をすること。 ・普段から、アニメやナレーションの発声を観察しておくこと。						
テキスト	無						
参考書等	有	アニメ台本、舞台台本、ラジオ・パーソナリティー台本等 ・各講師が用意するプリント等					
その他 :学生に対する要望、メッセージ等	どのような仕事にも まず、向き合う姿勢と挨拶から取り組んでいきます。何にでも対応できるよう、日々訓練を重ねて、できる限り、たくさんの現場へと送り出して行けるよう導きたいと思います。						

授業計画

	内容		
1	発声・発音		
2	腹式呼吸・発生の必要性		
3	アクセント・イントネーション・鼻濁音		
4	早口言葉・朗読・ナレーション		
～			
10	早口言葉・朗読・ナレーション		
11	伝えるから伝わるへ～表現力練習		
12	演技におけるマルチタスクの考え方		
13	セリフの練習		
～			
21	プレゼンテーションの仕方		
22	1対1の会話 1対多のスピーチ		
23	自己肯定感を高める必要性		
24	自分以外の誰かになるということ		
～			
30	自分以外の誰かになるということ		
31	演劇台本での演技基礎練習		
～			
40	演劇台本での演技基礎練習		
41	アニメーション等のアテレコ実習		
～			
60	アニメーション等のアテレコ実習		